



「さくら学年」としてスタートした1年生がこれまでの取り組みを振り返りながら、**3年後の満開の桜を目指して**、学年集会を開催しました。

桜の5枚の花びらには「**信頼**される人になろう！」「**ポジティブ**に関わろう！」「**最後まで**やりきろう」「**周り**を見る力を身に付けよう！」「**積極的に**チャレンジ！」の5つの意味が込められています。これまでを振り返り、現状を分析し、今すべきことは何か、5つのキーワードをもとに話し合いました。

『**信頼**』ができていない。授業態度などが悪い時がある、「**積極性**ができていない。特定の人しか手を上げていない」などの意見が出る中で、「でも、課題ばかりではなく、できているところ、いいところもあるのでは？」という問いかけがあり、「みんな仲良くできている。それは**ポジティブ**に関わっている。明るいところもある」、「**行事**では最後まで一生懸命にみんなやっていた。周りを見たりすることもできた」などのよいところも出されました。

そのうえで「よさを誇れる学年として、今向かうべき花びらはなにか」と司会者が尋ねると、「アンケート結果で一番低かった『**信頼**』に関わる部分がいい」という意見や「周りを見る力ももう少し付けたほうがいい」「発言が少ないので、発言していない人が発言したらもっと良くなる」などの建設的な意見が次々と出されました。

そして、グループでの話し合いも行った上で、「**積極的**」の部分に取り組むことが、「**ポジティブ**」にも通じ、「**周りを見る力**もつく」からよい、という方向に意見が決まりかけました。そのとき、「**でも、『信頼』があまり議論されていないけど、いいのかなあ**」と新たな視点での意見が出されました。そのため、「**ポジティブ**に**積極的に**やれば**信頼**される」などさらに価値づけられ、最終的に『**積極的**』に取り組もう」に決定しました。

この会の司会・運営は生徒。教師は板書等を含め、生徒の発言の合間に問いかけるなどの支援のみでしたが、1時間で深い話し合いができていました。

「さくら学年」の確実な前進。「**頼もしい学年だなあ**」と思わずつぶやいてしまいました。3年後、満開の桜とともに、巣立っていく姿が目に見えてきます。